

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階(第一次審査、第二次審査)で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

住宅・まちづくりに関する、以下の報告区分に該当する研究論文とする。

- 1) 住宅・住宅系まちづくりに関して、新しい課題として有効な知見を得たもので、原則として未発表のもの
- 2) 住宅・住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・活動などに関する提案的実践の報告
- 3) 住宅・住宅系まちづくりに関する問題提起的な論説

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上及びHPにて「第10回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。
2015年5月8日 応募締め切り。応募総数51題。

◇研究論文投稿

2015年7月2日 投稿締め切り。投稿総数33編。

◇一次審査

形式審査による不採用論文はなかった。

2015年7月10日～7月31日 33編について、査読者による審査。

2015年8月10日 一次判定会議開催。採用3編、再提出27編、不採用3編を判定。

◇再提出投稿

2015年9月7日 再提出締め切り。再提出25編、投稿者による取り下げ2編。

◇二次審査

2015年9月11日～9月22日 査読者による二次審査。

2015年9月25日 最終判定会議開催。採用24編、不採用1編を判定。一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用27編、不採用4編、取り下げ2編。

(3) 審査の概要

◇形式審査

投稿論文(33編)について、運営幹事会による形式審査の結果、すべてが一次審査の対象となった。

◇一次審査

投稿論文(33編)の査読者による判定結果は、「採用+採用」3編、「採用+再提出」9編、「再提出+再提出」15編、「再提出+不採用」4編、「採用+不採用」1編、「不採用+不採用」1編であった。

このうち、「再提出+不採用」および「採用+不採用」の計5編について、運営幹事会において採否の審議を行い、3編を再提出、2編を不採用とした。その結果、採用3編、再提出27編、不採用3編とした。

◇二次審査

再提出論文(27編)について、まず投稿者による取り下げが2編あった。残りの25編について査読者による判定結果は、「採用+採用」19編、「採用+不採用」6編であった。「採用+不採用」となった6編について運営幹事会において採否の審議を行い、5編を採用、1編を不採用とした。その結果、採用24編とした。

以上より、一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用27編、不採用4編、投稿者による取り下げ2編となった。